

## 新人戦の試合の順延や実施日の変更について

### 問題提起：

例年新人戦は道場貸し出しのアンケートを取った後に学連で道場を割り振り、試合を行っているため、道場が使用できないといった問題は生じ得ない。

しかし今年はオンラインで行うため、参加大学すべてが試合当日に道場を利用できることを前提としており、学期の終わりという特性上成り立たない可能性がある。

そのため大学の事情で道場に立ち入れないといった事情がある大学は救済の対象としたいが、大会の性質がトーナメントであるため、リーグのように試合を順延することは難しい。そこで以下の提案をする

### 1. 試合実施不可能日を事前に申告してもらおう。

新人戦の期間が決定した時点で、加盟校は自分たちの大学が何日に試合を行うかを把握することができる。今回で言うと、3月5日～20日の土日、そして予備日の月金がそれにあたる。そのため、今のうちにそのうちのいつ大学の事情などで道場がつかえないかを把握してもらい、トーナメント抽選の日くらいに締め切りを設け、申請してもらおう。そして、この日までに道場が使えない旨を申請してきた大学に対しては、救済を行う。これ以降にはいかなる理由でも救済を認めず、不戦敗とする。

### 2. 予備日の設定

大会一か月前に学連は何日にどこの大学が試合を行うことができないかを把握することができるが、だからといって大会はトーナメントなので適当に試合を順延して救済することはできない。そこで、それぞれの試合予定日に予備日を設ける。

A. 土曜日に試合が予定されているが、当日に道場を利用できない大学がある場合  
→前日の金曜を予備日として、試合を行う。

B. 日曜日に試合が予定されているが、当日に道場を利用できない大学がある場合  
→翌日の月曜を予備日として、試合を行う。

例：3月5日（土）に試合が決まったが、当日は大学に入校することができない  
→前日の3月4日（金）が予備日であるため、その日に試合を行う。

例：3月6日（日）に試合が決まったが、当日は大学に入校することができない  
→翌日の3月7日（月）が予備日であるため、その日に試合を行う。

また、当初の日程で試合を行えない大学と、予備日で試合を行えない大学が試合をすることになった場合は、当初の日程で試合を行えない大学の不戦敗となる。

例：3月6日（日）にA大学対B大学の試合が決まったが、当日はA大学は大学に入校することができない

→翌日の3月7日（月）が予備日であるため、その日に試合を行いたいが、B大学は予備日に大学に入校することができず、試合が行えない

→当初の日程に試合を行えないA大学の不戦敗となる

### 3. 一連の流れ

年初

新人戦のスケジュールを発表

各大学が大学に学事日程の確認、道場の確保の期間

1月27日～2月3日

試合実施不可能日の事前申告期間（以降の棄権は不戦敗）

2月3日

トーナメント抽選

以上、

**東京都学生弓道連盟**